

# 大みそかの大舞台で 扇久保博正さんが優勝

久慈市出身の総合格闘家、扇久保博正さんが、令和3年12月31日に開催された「RIZIN.33」のバンタム級トーナメントに出場。大みそかに日本中が注目する中、有名選手らに勝利し、頂点に立ちました。



喜びのシャンパンファイト



決勝の舞台に真剣な面持ちで入場



決勝戦で勝利し両手を掲げる扇久保さん（左）



総合格闘技の師でもある鹿糠会長（右）

【写真提供】  
RIZIN FF Susumu Nagao

## profile / INTERVIEW

- ・パラエストラ松戸 所属
- ・第8代修斗世界フェザー級 王座
- ・VTJフライ級トーナメント 優勝
- ・第6代修斗世界フライ級 王座
- ・RIZINバンタム級トーナメント 優勝



扇久保博正  
公式サイト



扇久保博正  
Youtube  
チャンネル



おうぎくぼ ひろまさ  
**扇久保 博正**さん(34)  
久慈市中央出身・千葉県在住

■格闘技を始めるきっかけ  
父が空手の指導員をしていたこともあり、4歳から空手を習っていました。高校3年生のときに、当時開催されていた総合格闘技イベント「PRIDE」の選手たちに憧れ、鹿糠会長の下で総合格闘技を始めました。凍えるような寒さの中で大成橋の下で鹿糠会長とミット打ちをしたのは良い思い出です。

■優勝後の反響  
多くの人から「おめでとー」と声を掛けられました。小さな出来事もニュースに取り上げられ、テレビの力は大きいと実感しています。

RIZINバンタム級トーナメントは、昨年6月から始まり16人がエントリー。扇久保選手は、1回戦の春日井、寒天、たけし選手に勝利し、続いて9月に開催された2回戦では、大塚隆史選手に勝利。大みそかにさいたまスーパーアリーナで開催される、準決勝への出場を決めました。準決勝の相手は、若手実力者の井上直樹選手。扇久保さんは、寝技の攻防でペースを握り、3-0で判定勝ちし、決勝に駒を進めました。決勝戦の相手は令和2年8月に、同階級の王座決定戦で敗れた朝倉海選手。1日に2試合を行う厳しい日程の中、打撃や寝技で積極的に攻め、主導権を譲らず、3-0の判定で悲願の初優勝に輝きました。

優勝後のインタビューでは、会場に駆けつけていた恋人に公開プロポーズ。求婚は成功し、観客から大きな拍手が送られました。

1月8日には、久慈後援会が市内催事場で祝勝会を開催。会員ら50人が参加し、

偉業をたたえました。同会の鹿糠智樹会長は「以前から、多くの名勝負で勝利を収める偉大な選手だったが、さらに幾つもの川を越えて手にした今回の優勝。この結果の素晴らしさを皆さんにも分かってほしい」と笑顔で語りました。

RIZINは、総合格闘技やキックボクシングなどの試合を運営する「RIZIN FF」(ライジン・ファイティング・フェデレーション)が主催する大会の総称で、地上波でも放送。大みそかの大会は、特に人気が高く、格闘技ファンのみならず、多くの人が熱狂する一大イベントです。



後援会員と笑顔で記念撮影



井上選手を寝技で圧倒



右ストレートが朝倉選手の顔面を直撃

■故郷への思い  
後援会をはじめ、市民の皆さんからの応援は、本当に力になりました。リングで久慈出身とコールされると、故郷を思い出し、ギョッと力が入ります。これからも勝ち続けて、さまざまなかたちで久慈を盛り上げていきたいです。

■今後の目標  
過去に2度敗北している、堀口恭司選手に勝利して、本当の意味でNo.1になりたいです。海外での大会も視野に入れながら、今回のトーナメントは、全て判定勝ちだったので、KO勝ちできるような、レベルアップしたいです。そして、故郷久慈で、総合格闘技の大会を開催する夢を、実現させたいと思っています。

■夢を持つ皆さんへ  
目の前の結果で一喜一憂せず、悪いときもあると思いますが、それで終わりはありません。きついときでも、良い結果を想像しながら頑張ると、必ず良い結果がついてきますので、諦めずに頑張ってください。